

幼稚園だより

令和7年 9月 8日

9月号

荒川区立花の木幼稚園

園長 竹下 佳余



さあ、2学期のスタートです

園長 竹下 佳余

残暑厳しい9月のスタート、すずしい夜風に虫の音と一步一步秋の足音が聞こえてくるのが、待ち遠しい毎日です。

夏休みが終わりました。猛暑への対応は大変でしたが、夏休みならではの体験や経験をし、有意義な時間を過ごせたことと思います。私も、自分の時間を楽しむ中、研修会に参加して新たな気付きを得ることができました。その一つ、全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会 東京大会では、今年度より積極的に取り組んでいる「幼稚園と小学校の連携」の意義を再認識するとともに、「学びの連続性」の重要性を改めて実感しました。

『「やってみたいな」「たのしいな」「もっとやりたいな」と遊び込める姿を求めて』『“わくわく” “どきどき” “もっと”を支える保育』。これは、東京大会で研究発表をした園の研究テーマです。そして、考察に「子どもの興味・関心や遊びの様子を見ながら、子どもが考えたり、試したりできる材料や用具を子どもと共に準備し、子どもの思いに寄り添うことで興味が深まり、遊びが連続していくことが分かった。」とありました。心が動き、心が躍る。様々な遊びの中で、友達との触れ合いや対話から興味・関心を引き出したり、季節の移り変わりの中で自然物を見たり聞いたり触ったりと諸感覚を働かせることで気付きを広げたりと、園生活がより豊かになるように働きかけていきたいと思っています。

10月11日(土)の「運動会」に向けての計画・準備を進めていきます。お子さまの練習での頑張りに励ましの声をかけていただければ、大きな力となります。よろしくお願いいたします。

🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸 9月の保育のねらい 🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸🌸

《3歳児：ひよこ組》

- ・園生活の流れを思い出し、自分でできる身の回りのことを進んでしようとする。
- ・教師や友達と一緒に、体を動かして遊ぶことを楽しむ。

《4歳児：こあら組》

- ・経験したことや自分の思いを友達に伝えたり、友達の話を聞いたりしながら、園生活のリズムを取り戻す。
- ・友達と一緒に体を十分動かし、いろいろな運動遊びを楽しむ。

《5歳児：いるか組》

- ・体験したことや感じたことを教師や友達と伝え合い、一緒に遊びを進めていく楽しさを味わう。